

夢に向かって

長崎市立愛宕小学校
校長 中村 秀一郎
電話 826-6062

教育目標 あたたかく たくましい 心と体を持ち、互いに学び合う児童の育成

楽し声 急ぎ歩調の 五月雨



五月雨（さつきあめ、さみだれ）は、梅雨の頃の断続的に降る雨のことで、時期的には1か月ぐらいあとになるそうです。

天気予報によると、今日の夕方から降る雨は、勢いがかなりの強いように表示されています。明日の登校では、交通事故に遭わないように、強風でけがをしないように、ひと声掛けて送り出してください。

併せて、ランドセルの中に「タオル」や「替えの靴下」などを忍ばせていただくと、一日不快に過ごさなくてすむのではないかと思います。

気が利く6年生



左の写真は、委員会活動で花壇の手入れをやっている様子です。4月の委員会活動が始まるまでの期間にも、自主的に水やりをしてくれている6年生がいました。

また、右の写真はきちんと並べられた植木鉢です。連休中の大風で散らばった植木鉢を、朝から6年生同士で相談し、回収して並べてくれました。偉いものです。

今年度は、気持ちの良い挨拶にもよく取り組んでいます。

全校集会での話

5月の全校集会をリモートで実施しました。私の話は次のような組立です。

1 負けない心が必要。

（くじけない心）

・西玄関のコンクリートの隙間、足ふきマットの合間から、一枚の葉が生えてきていました。懸命に生きる姿に心を打たれました。



2 頑張っている中（コロナ禍の中）でも、少し不安（心配）になる時がある。

・✖不安 ⇒ 差別（いじめ）

コロナ禍を恐れて過剰な反応をして、差別（いじめ）につなげてはいけません。



3 「人権」「平和」については、年間を通して学習し、心にとどめておかねばならない。「被爆くすの木」を登場させ、身近なところから差別をなくし、他人の立場に立つことから始める。「平和」は友達と仲良くすることから取り組む。

3 「人権」「平和」については、年間を通して学習し、心にとどめておかねばならない。「被爆くすの木」を登場させ、身近なところから差別をなくし、他人の立場に立つことから始める。「平和」は友達と仲良くすることから取り組む。

避難訓練



いつも避難訓練をすると、その出来の良さに感心させられます。「訓練は本番のように、本番は訓練のように」が合言葉です。併せて、「一番大切なものは『命』も子供との

合言葉にしています。